

教育プログラム・コースの概要

大学名等	慶應義塾大学大学院医学研究科
教育プログラム・コース名	がんゲノム医療実装化コース（インテンシブコース）
対象者	医学研究科大学院生, 健康マネジメント研究科大学院生, 薬学研究科大学院生, 一般医師, 看護師, 保健師, 助産師, 薬剤師, 臨床検査技師 等
修業年限（期間）	1年
養成すべき人材像	がんのクリニカルシーケンスや遺伝性腫瘍のパネル検査を通して, 体細胞変異と生殖細胞系列変異との双方を俯瞰することで, 散発性腫瘍および遺伝性腫瘍におけるがんの発生や進展に関わる遺伝子の役割を理解し, 個別化した治療標的を応用するがん治療および予防に貢献可能な人材を育成する。
修了要件・履修方法	本教育プログラム・コースで定める科目を履修し, 試験に合格すること。
履修科目等	<p><必修科目></p> <p>臨床遺伝学センター カンファレンス（30時間以上）</p> <p>臨床遺伝学センター実習（60時間以上）</p> <p>腫瘍センター実習（120時間以上）</p> <p><選択科目></p> <p>がん関連診療科での実習（360時間以上）</p>
教育内容の特色等 （新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> ・バリエントの標記とその意義を理解する ・クリニカルシーケンスによる体細胞変異とともに, 潜在する生殖細胞系列変異を理解する ・コンパニオン診断について理解する ・がん家族歴聴取と遺伝性腫瘍のリスク判定を学ぶ ・実際の遺伝カウンセリングに陪席することで遺伝子診療を学ぶ ・遺伝子変異保持者を対象とした院内コホートを構築し, がん予防のためのサーベンランス体制を構築するとともにリスク低減手法を理解する ・国際データベース構築への参画することで世界のデータシェアリングへ貢献する
指導体制	<p>【主たる指導スタッフ】</p> <p>小崎健次郎（臨床遺伝専門医）, 武田祐子（健康マネジメント研究科）, 平沢 晃（臨床遺伝専門医）, 植木有紗（臨床遺伝専門医）</p> <p>【協力指導スタッフ】</p> <p>浜本康夫（がん薬物療法専門医）, 三須久美子（認定遺伝カウンセラー）, 山澤一樹（臨床遺伝専門医）</p>

教育プログラム・ コース修了者の キャリアパス構想	<p>【専門職獲得に向けた準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床遺伝専門医の取得準備 ・がん薬物療法専門医の取得準備 ・遺伝専門看護師の取得準備 ・家族性腫瘍コーディネーターまたは家族性腫瘍カウンセラーを取得する <p>【ゲノム医療実用化に携わる医療人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルシーケンスと偶発的所見について理解が出来る ・がんリスク評価を行い、真の高リスク者を抽出可能である ・がんリスク低減法のための介入を考慮することが出来る ・遺伝性腫瘍のクライアントを通して、その考えに傾聴し自律的決定を支援することが出来る 						
受入開始時期	平成29年9月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医師	3	3	3	3	3	15
	看護師/保健師 /助産師	2	2	2	2	2	10
	薬剤師	1	1	1	1	1	5
	臨床検査技師	1	1	1	1	1	5
	計	7	7	7	7	7	35